



M-0480

0257

M2,5,0,4-5

大日本帝國政府

政務局

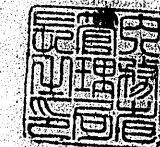
管民第九七八號

昭和十八年十月六日

内務省管理局長 竹内 徳

外務省政務局長 殿

伊太利名譽領事ニ關スル件  
本件ニ關シ今般臺灣總督府警務局長ヨリ別紙ノ通申越アリタルニ付委  
細右ニテ御了知ノ上何分ノ御配意相煩度



秘

大日本帝國政府

警高秘甲第九四八七號

昭和十八年九月二十三日

臺灣總督府警務局長 山内 逸造

内務省管理局長 殿

伊太利名譽領事ニ關スル件

國籍 伊太利

住所 臺北市永樂町一丁目四七番地

臺北帝國大學英文學講師

駐臺北伊太利名譽領事(事務官)

アルンデル デルレー

西歷一九二二年一月二十九日生

右者肩書帝大調師トシテ昭和五年九月二十三日來臺越ヘテ昭和七年六



大日本帝國勅諭

西曆一千九百二十一年八月二十三日

大日本帝國大學英文學部

大日本帝國大學英文學部

大日本帝國大學英文學部

大日本帝國大學英文學部

大日本帝國大學英文學部

大日本帝國大學英文學部

大日本帝國大學英文學部

大日本帝國政府

月三日伊太利名譽領事(事務官)ニ任命セラレ今日ニ及ビタル者ナル  
ガ本年九月九日伊太利ノ無條件降伏ト共ニ外部トノ遮斷ヲ實施目下肩  
臂住所ニ於テ監視中ノ者ナルガフアンスト共和政權ノ誕生ヲ見ントス  
ルヤ黒旗衣ヲ着シオアンスト黨員ナリト囁キ新政權ニ就カントノ氣勢  
ヲ示シ居ルモノナルモ元來本名ハ左記ノ通り略歴、血統關係及本島在  
住中ノ容疑事實ニ照シ米英側諜報網ノ一員ト認定セラルヘク帝國ガム  
ソリト五新政權ヲ承認スルガ如キ際ニ於テハ本名ヲ其ノ儘領事タラシ  
ムルコトハ極力阻止スベキモノト認メラルヲ以テ當局ニ御連絡相成  
展

大日本帝國迎賓

聖朝の御事、大經義は神勅に  
 遵奉し、時宜く  
 今ハヒイノ國、御禮、御事、手無クテ、贈メテ、ムシメ、以テ、當朝ニ、曉諭、御事、在  
 リ。ト、ナリ、海、外、御事、為、思ヘ、ム、取、テ、額ニ、領メ、ハ、本、合、マ、其、ノ、權、重、事々、モ、  
 主中へ、容、賜、厚、賞ニ、照シ、米、英、斷、絶、弊、除キ、一員ノ、御、守、サ、セ、ム、ハ、帝、國、亦、ム  
 テ、示シ、恩、シ、チ、ノ、ナ、ム、生、死、來、本、合、ハ、五、臣ノ、誰リ、御、強、ク、血、氣、瀾、邪、又、本、皇、主  
 ハ、子、孫、永、方、普、ク、ト、イ、ス、イ、爲、目、ヤ、リ、イ、敵、手、許、迄、斷、ク、究、ケ、ム、ノ、聲、援  
 ヲ、由、河、ニ、金、ヲ、御、賜、中、ノ、言、サ、ハ、ヒ、ミ、ア、タ、シ、共、味、知、謝、ク、御、坐、メ、景、ヘ、イ、ス  
 ヲ、本、手、式、日、此、日、稻、太、尉、ノ、兼、持、君、親、入、リ、我、ニ、代、應、リ、ノ、御、直、ヲ、費、服、日、不、買  
 月、三、日、月、大、將、公、卿、諸、將、一、等、德、百、ノ、二、日、給、サ、セ、今日ニ、次、シ、ム、答、ナ、ム

大日本帝國政府

一本名ノ略歴

記

英國オックス、フオード大學及ロンドン大學卒業後ロンドン大學助  
教授英國文學博士ノ稱號ヲ受ケ昭和五年九月臺北帝國大學英文學講  
師トシテ來臺

一血統關係

本名ノ母ベリン、クレモルト、ヒール及本名ハ妻ハリオツト、ジ  
 ン、アルレーハ執レモ英國人ニシテ血統關係ヨリ見テモ英國ト密接  
 關係アリ

具體的容疑事實／概要

(一)昭和十三年十二月二日香港放送ニ上海電報トシテ臺北デルレーナ  
ル者ヨリ入手セリトテ臺灣軍ノ現有勢力及臺灣軍ニ於ケル本島人  
ノ徵發及内地人ノ徵收ニ關スルモノ及ビ日支事變ノ目的ニ關スル  
外國ヲ刺戟シ日本トノ離間策ト思料セラルルガ如キ放送ヲ傍受シ  
デルレーニ付キ銳意内偵シタル處本名ハ臺北駐在伊太利領事ヲ爲

大日本帝國新聞

本報は、日本に於ける新聞界の巨頭として、常にその使命を全うし、国民の利益を代表して、世界の動向を正確に伝へ、日本の発展に貢献する所を以て、その最大の目的とする。本報は、その使命を全うするために、常に最新の情報を収集し、正確な報道を行う。また、国民の教育と啓蒙に努め、社会の進歩と発展に貢献する所を以て、その最大の目的とする。本報は、その使命を全うするために、常に最新の情報を収集し、正確な報道を行う。また、国民の教育と啓蒙に努め、社会の進歩と発展に貢献する所を以て、その最大の目的とする。

大日本帝國政府

ス傍ラ臺北帝國大學英文學講師ヲ勤メ居ルヲ奇貨トシ當時帝大學  
生ヲ出入センノ或ハ本名ノ信仰宗教タル臺北市達來町天主教教會  
ノ西班牙人宣教師ヲ通ジ巧ニ情報ヲ蒐集シ一面ニハ專屬諜者タル  
波多野三郎江ノ交友關係ニアル外客英國人フインストン、ボルト  
ン、ホック、オワー、グリフィン等使シ日支事變下ニ於ケル臺  
灣軍ノ情報ヲ蒐集センメタル容疑濃厚ナルモノアリ  
（外客田路ユリ子トノ容疑關係）  
田路ユリ子ハ昭和十二年春頃渡臺北駐在米國領事館並伊太利領事  
館、外客ボルトン宅等ヲ轉々トシテ在留シ諜報活動ヲ爲ス容疑濃  
厚ナルモノアリ行動秘密内偵中ナリシ處同年二月頃中國航空隊ノ  
本島空襲ニ際シ臺北州下松山ノ空襲被害状況ヲ撮影シタル寫眞ガ  
當時ロンドン發行某雜誌ニ登載セラレタルガ當時田路ユリ子ハ色  
手段ヲ以テ大毎新聞同盟ヲ通信員ヲ弄落シ原板ヲ入手ノ上英國諜報  
員タル外客ボルトンニ手交シ淡水駐在英國領事館ヲ經テ英本土ニ  
送付センメ

大日本帝國政府

思想談略資料ニ充テシタル事實發見セルガ當時テレレ領事モ  
女子供等ノ交友ヲ口實トシテ田路ヲ常時出入投宿センメ巧ニ利用  
シテ日支事變下ニ於ケル臺灣軍ノ移動狀況其ノ他國情調査等ニ當  
ラシメタル容疑濃厚ニシテ所謂臺北デレレヨリ入手セル上海電  
報トシテ香港ヨリ放送セラレタル情報等ノ蒐集ニモ本名ノ諜報活  
動少ナカラザルモノアリト認メラル  
曰元外事部雇薩藤信次郎ノ軍機保護法違反被疑事件ニ關聯セルデ  
レレノ動靜關係  
本籍 福岡縣山門郡大和村大字榮四十一番地  
住所 臺北市古亭町二二六番地  
無職（元外事部雇） 齋藤 信次郎  
大正三年一月三日生  
右者昭和十六年五月十六日頃ヨリ安南人武文順ト知り合ヒ同人ト  
交際中偶然ノ原因ニヨリ日本軍部ノ諜報機關ノ業務ニ關スル軍事  
上ノ秘密（諜報機關タル軍參謀部ガ其ノ作業トシテ對安南工作ノ

大日本帝國政府

右者昭和十六年五月十六日頃ヨリ安南人武文順ト知り合ヒ同人ト  
交際中偶然ノ原因ニヨリ日本軍部ノ諜報機關ノ業務ニ關スル軍事  
上ノ秘密（諜報機關タル軍參謀部ガ其ノ作業トシテ對安南工作ノ



大日本帝國政府

タル處其ノ後林氏秀鳳及林田文仁等ノ安否ヲ氣遣ヒ之ニ文通スヘ  
クテルレ領事ヲ通シテ昭和十七年一月二十四日附ノ手紙ヲ發送  
シタルニテレヨリ一ヶ月後ニ之ヲ林田文仁ニ交付シタル旨ノ  
返信アリタルモノナルカ昭和十七年九月頃エルフインストンノ友  
人ニシテ香港在住英國人シルバーナル者ヨリ林田文仁宛ノ通信ニ  
依レハ林田文仁カ大東亞戰爭ト共ニ檢舉取調ベテ受ケタル事實ヲ  
知悉シ慰メノ意ヲ記載シアリ引揚ケ當時依頼セル點等ヨリシテ林  
田文仁等ノ狀況ヲ通報シ又ハ文通ノ幹旋ヲ爲シ居リタル事實明白  
ニシテ殊ニ右エルフインストンハ我カ軍ノ香港攻略ト共ニ純然タ  
ルニ不拘ラス印度人トノ混血兒ナルヲ奇貨トシテ印度人ヲ装ヒ日  
本軍監視ノ目ヲ免レ自由ノ中立的立場ニ於テ行動シ居ル由ナルカ  
本名在臺中ニ於ケル行動ヨリ見ルモ相當容疑ノ點アリ殊ニ本島在  
住長クシテ臺灣語ヲ巧ニシ本島人知人モ多ク本島人ノ臺灣來住者  
等ニ對シテハ努メテ接觸ヲ計リツツアリ香港ニ於テ許内、龜山炎  
亭、杜某等ニモ接近セル事實アリ、如斯ナルレハ樞軸側ノ領事

大日本帝國陸軍

四  
五  
六  
七  
八  
九  
十  
十一  
十二  
十三  
十四  
十五  
十六  
十七  
十八  
十九  
二十  
二十一  
二十二  
二十三  
二十四  
二十五  
二十六  
二十七  
二十八  
二十九  
三十  
三十一  
三十二  
三十三  
三十四  
三十五  
三十六  
三十七  
三十八  
三十九  
四十  
四十一  
四十二  
四十三  
四十四  
四十五  
四十六  
四十七  
四十八  
四十九  
五十  
五十一  
五十二  
五十三  
五十四  
五十五  
五十六  
五十七  
五十八  
五十九  
六十  
六十一  
六十二  
六十三  
六十四  
六十五  
六十六  
六十七  
六十八  
六十九  
七十  
七十一  
七十二  
七十三  
七十四  
七十五  
七十六  
七十七  
七十八  
七十九  
八十  
八十一  
八十二  
八十三  
八十四  
八十五  
八十六  
八十七  
八十八  
八十九  
九十  
九十一  
九十二  
九十三  
九十四  
九十五  
九十六  
九十七  
九十八  
九十九  
一百

大日本帝國憲法

（一）天皇  
（二）國會  
（三）內閣  
（四）司法  
（五）地方自治  
（六）國民之權利義務  
（七）皇室  
（八）附則

大日本帝國政府

（一）總論  
（二）行政  
（三）立法  
（四）司法  
（五）地方自治  
（六）國民之權利義務  
（七）皇室  
（八）附則

大日本帝國通商

（前略）  
今考ヘテモドウモ不思議ダト思ヘレテナライノハ昭和十五年三月頃今次歐洲大戰ニ伊太利カ參戰直後高雄港ニ伊太利汽船カリニヤノ號力昭和十六年四月頃迄約一ケ年寄泊シテキタ當時丁度支那

大日本帝國政府

トシテ或ハ援助者トシテ活動シ居ル事實ノ確證スルモノト認メラ

内伊太利汽船カリニヤノ號高雄入港ニ關スル外要三尾利一ノ言動

臺北市下壺府町三ノ六

美時洋行廠產管理人

外要 三尾利一

當四十六年

右既定ニ於テテルレノ領事ト相當密接ナル仕事上ノ連絡アリ外談容疑濃厚ナルモノナルガテルレノ外談容疑ノ點ニ付左ノ言動アリタリ

記

（前略）

今考ヘテモドウモ不思議ダト思ヘレテナライノハ昭和十五年三月頃今次歐洲大戰ニ伊太利カ參戰直後高雄港ニ伊太利汽船カリニヤノ號力昭和十六年四月頃迄約一ケ年寄泊シテキタ當時丁度支那

大日本帝國政府

漢口ノ伊太利領事ボレー・レゴリートト言フノカ病後ノ保養ノ  
爲來臺約一ヶ月半位ノ間在臺セル事ガアツタカ其ノ際アルレ  
ヨリ私ニボレー・レゴリートト言フノ島内旅行ヲ行テ吳レトノ依願ガ  
アリ私トボレー・レゴリートト言フノ島内旅行ヲ行テ吳レトノ依願ガ  
旅行丁度高雄ニ到着シタ夜ボレー・レゴリートト言フノ島内旅行ヲ  
ガ在泊中アスカ訪問サレルカト尋ネタ處「良イ機曾ダカラ訪問  
シヤウ」ト言フノ私ハ三尾ハ直チニ旅館ノ電話ヲ臺灣倉庫ノ  
高雄出張所ニ「此レカラ在漢口ノ伊太利領事ガ伊太利船訪問ニ行  
クカラランチノ準備ヲ願ム」旨依頼セル處倉庫會社ヨリ「實ハ秘  
密テ昨夜横濱ニ向ケ既ニ出航シタ」トノ返事テ早速私ハボレー・  
レゴリートト言フノ島内旅行ヲ行テ吳レトノ依願ガ  
領事ニ其旨傳ヘ「臺北ノ領事ハ多分御存知ナカラウカラ  
スグ知ラセマセウ」ト言フタ處ボレー・レゴリートト言フノ島内  
知ラヌ方カ良イダラウ何レ其ノ内一週間モンタラ横濱ニ着クダ  
ラウカラ其ノ時自然ニテ領事ニハ分ルノダカラ其迄出航シ  
タ事ハ知ラセルナト言ヘレタノテ其儘テルレニ通知スルノヲ

大日本帝國政府

漢口ノ伊太利領事ボレー・レゴリートト言フノカ病後ノ保養ノ  
爲來臺約一ヶ月半位ノ間在臺セル事ガアツタカ其ノ際アルレ  
ヨリ私ニボレー・レゴリートト言フノ島内旅行ヲ行テ吳レトノ依願ガ  
アリ私トボレー・レゴリートト言フノ島内旅行ヲ行テ吳レトノ依願ガ  
旅行丁度高雄ニ到着シタ夜ボレー・レゴリートト言フノ島内旅行ヲ  
ガ在泊中アスカ訪問サレルカト尋ネタ處「良イ機曾ダカラ訪問  
シヤウ」ト言フノ私ハ三尾ハ直チニ旅館ノ電話ヲ臺灣倉庫ノ  
高雄出張所ニ「此レカラ在漢口ノ伊太利領事ガ伊太利船訪問ニ行  
クカラランチノ準備ヲ願ム」旨依頼セル處倉庫會社ヨリ「實ハ秘  
密テ昨夜横濱ニ向ケ既ニ出航シタ」トノ返事テ早速私ハボレー・  
レゴリートト言フノ島内旅行ヲ行テ吳レトノ依願ガ  
領事ニ其旨傳ヘ「臺北ノ領事ハ多分御存知ナカラウカラ  
スグ知ラセマセウ」ト言フタ處ボレー・レゴリートト言フノ島内  
知ラヌ方カ良イダラウ何レ其ノ内一週間モンタラ横濱ニ着クダ  
ラウカラ其ノ時自然ニテ領事ニハ分ルノダカラ其迄出航シ  
タ事ハ知ラセルナト言ヘレタノテ其儘テルレニ通知スルノヲ

（一）大日本帝國政府は、大正十一年四月、大東亞戰前、彼レハ此ノ金ヲ皆米國銀行ニ預金シ居リ其額ハ米貨十萬弗ヲ超エルモノアリ、遊ンテ生活シテモ五

止メタノデアツタカ確ニボレヤ一領事トシテハヘルレーヲ養成シテ知ラサナカッタノデ同シ國ノ領事同志テサヘヘルレーニ對シテハ相當容疑人物タトシテ警戒シテキタノダト思ヘマス

其レテ彼カ反極端的人物タト云フ事ハ明白テアリ領事トシテノ警類中ニハ英、米、蘭邊リトノ往復文書ガ相當アルノテハナカラウカト思ハレル云々

（七）ヘルレーノ米國系銀行ニ就キ臺灣拓調查課長ノ言動

臺北市大正町一丁目十七番地  
臺灣拓殖株式會社調查課長 河井 謙  
當四十七年

大日本帝國通商

大日本帝國通商ノ要綱  
一、通商ノ本質  
二、通商ノ種類  
三、通商ノ利益  
四、通商ノ障礙  
五、通商ノ促進  
六、通商ノ制限  
七、通商ノ監督  
八、通商ノ紛争  
九、通商ノ協定  
十、通商ノ條約  
十一、通商ノ慣習  
十二、通商ノ法律  
十三、通商ノ行政  
十四、通商ノ司法  
十五、通商ノ警察  
十六、通商ノ衛生  
十七、通商ノ教育  
十八、通商ノ文化  
十九、通商ノ宗教  
二十、通商ノ風俗

大日本帝國政府

六年ハ食ヘル莫大ナモノデアリ大東亞戰爭後ハ果シテ何處ノ銀行ニ預金シ居ルヤ判明セサルモ相當ノ預金ヲ潤ケ居ル事ハ疑ヲ入レサルモノナリ  
尙米穀系銀行ヘ預金ノ方法等ニ就テハ以前ハ基隆入港ノ便船ヲ利用シテ居ツタガ其ノ後ハ判然トシナイ、又デルレーハ米國ノ國債ヲモ多敷所持シ居ル事ナリ 云々  
註 本名ノ本島ニ於ケル預金ハ昭和十四年ヨリ三和銀行ニ爲シ居レルカ本年八月三十一日ノ帳尻ハ二百七個二十四錢ノ寡額ニ止マル  
(ハ)デルレー領事ノ反フアシスト的ニシテ親英的ナル言動  
臺拓調査課長河井讓ノ言動  
今次伊太利ニソノリニフアシスト政權崩潰直後確カ八月二日頃タツタト思フ自分ヘ河井一カデルレー宅ヲ訪問シタル際デルレート色々英語ヲ話シタルアルカ其ノ際今次ソノリニフアシスト政權崩潰ニ對スルデルレーノ言動ハ極メテ反フア

大日本帝國政府

[illegible]

ツシヨ的ニシテ彼レノ内包セル思想ヲ嚮呈セルモノト認メラルルカ即チデルレーハ

「愈々ムツソリーニノフアンスト政治モ崩潰セルニ依リ今度ハ國王ノ親政ニ基キバトリオ元帥力政權ヲ握ツタノテ此レカラ伊太利モ非常ニ良クナリ今迄虐ケラレテ來タ國王派モヤツト芽カ出タ譯タ

元來自分ハ英國ヲ當面ノ敵トシテ戰爭スルカ如キハ決シテ好マナイモノテアツタカ、此レカラハ國王、バトリオヲ中心ニ極メテ親英的ナ行キ方トナリ結局其ノ方カ伊太利國民ニ採ツテモ幸福タ云々」

ト明言シタルニ依リ私（河井）ハ假面ノ中ノ實體ヲ見タ感ヲ深クシタカ彼ノ表面フアンストノ黒衣ノ蔭ニ内包セル觀念ト云フモノハ爪ノ垢程モフアンストトシテノ信念ハ持テ合セテキナイコソ赤裸々ナ姿ヲ見テ此奴ハ大變タ當局ニ密告シ様カト思フタ彼ハ血液的ニ見テモ妻ハ英國人母モ英國人ナレハ血ノ繋リノア

大日本帝國迎謝

（右側欄の文字は非常に小さく、読み取りが困難です。概ね、大日本帝國の御礼や謝意に関する文書と推測されます。）

大日本帝國政府

（左側欄の文字は非常に小さく、読み取りが困難です。概ね、大日本帝國政府の声明や文書と推測されます。）

大日本帝國迎訊

[illegible]

大日本帝國政府

(十)  
主ナル交友狀況

斯カル事實ヨリ徴スルニイヤシクモ敵國米領事館力樞軸伊太利領事ニ此ノ種ノ機密文書ヲ送付スル等トハ考ヘモ及ハス所謂デルレ一個人宛ヘノ米國領事館ヨリノ送付書類ナリト斷言サレ得ルモノニシテ斯カル事實ハ彼デルレ一カ如何ニ其ノ内面ニ於テ敵國米英領事館側ト連絡シテ日本ノ國情諜報ニ暗躍セルカヲ裏附ケル絶好ノ資料タルモノニシテ其ノ種敵國ヨリノ機密文書ヲ偶然發見セル點ヨリ推シテ未檢索ノデルレ一所持ノ領事館關係文書中ニハヨリ有力ナル證據文書ヲ秘藏シタルハ論ヲ俟タサル處ナリ

米、英、伊、蘭等ノ在臺各國領事館ハ外要團體外人俱樂部ヲ中心トシ在任歐米人ノ親睦機關タル美名ニ匿レ在留歐米人ヲ通シ毎月一同宛會合シ情報ノ蒐集ヲ爲シ來タル力昭和十二年日支事變ノ勃發ヲ契機トシ之等外交機關ノ諜報活動モ次第ニ活潑ナル活動ヲ續ケ從來ノ外國人俱樂部ヲ中心トシテノ會合ヲ廢止シ

大日本帝國通識

（中）  
各國領事館ヲ中心トシテノ會合ニ變ジ每週一回宛ノ會合ヲ以テ  
情報ノ交換ヲ爲シ親英米的色彩ヲ濃厚ナラシメ居リ日、獨伊ノ  
三國樞軸關係成立後ニ於テモ特ニ親交深キ英國領事トノ關係ハ  
中絶スル事ナク交友ヲ續ケ英國領事館ノ閉鎖前ニ於テ既ニ敵國  
タル英國領事館ノ警備ノ一部ヲ委託保管中ナルモノ聞込ミモア  
リ昨今ニ至リテハ敵國タル英國領事館ノ荒廢狀況ヲ利益代表國  
タルスイス公使館ニ通報シ我力國外交上ノ難點ヲ指摘通報スル  
等盟邦樞軸國タル領事トシテ實ニ爲シ得ヘカサル事ヲ敢ヘテ  
爲シ來タルモノナリ  
日英時洋行支配人英國人ロバート・ボイドオアトノ關係  
臺北市永樂町一丁目  
英時洋行支配人 英國人ロバート・ボイドオアト  
右ハ昭和十六年八月米、英關係ノ急迫スルト共ニ本國政府ノ命  
ニヨリ本島ヲ引揚ケ歸國セルモノナル方同人ノ引揚ケニ際シビ  
アノ、食器、書籍等相當多額ノ家財ヲ賣受ケタリト稱シ自己名

大日本帝國政府

各國領事館ヲ中心トシテノ會合ニ變ジ每週一回宛ノ會合ヲ以テ  
情報ノ交換ヲ爲シ親英米的色彩ヲ濃厚ナラシメ居リ日、獨伊ノ  
三國樞軸關係成立後ニ於テモ特ニ親交深キ英國領事トノ關係ハ  
中絶スル事ナク交友ヲ續ケ英國領事館ノ閉鎖前ニ於テ既ニ敵國  
タル英國領事館ノ警備ノ一部ヲ委託保管中ナルモノ聞込ミモア  
リ昨今ニ至リテハ敵國タル英國領事館ノ荒廢狀況ヲ利益代表國  
タルスイス公使館ニ通報シ我力國外交上ノ難點ヲ指摘通報スル  
等盟邦樞軸國タル領事トシテ實ニ爲シ得ヘカサル事ヲ敢ヘテ  
爲シ來タルモノナリ  
日英時洋行支配人英國人ロバート・ボイドオアトノ關係  
臺北市永樂町一丁目  
英時洋行支配人 英國人ロバート・ボイドオアト  
右ハ昭和十六年八月米、英關係ノ急迫スルト共ニ本國政府ノ命  
ニヨリ本島ヲ引揚ケ歸國セルモノナル方同人ノ引揚ケニ際シビ  
アノ、食器、書籍等相當多額ノ家財ヲ賣受ケタリト稱シ自己名



大日本帝國通譯

出令大ニテハ、  
ハ、本國ニシテハ、  
日、以テ、  
對ニシテハ、

大日本帝國政府

ニシテ、バドリ、  
伏ヲ、敢行、  
信行、  
ラモ、  
然、  
サヘ、  
護、  
キ、  
ニ、  
大、  
ニ、  
實、  
再、  
再、  
ル、





大日本帝國通商

シナケレハ自身ノ立場ヨリ困難ナルモノトナフテ來ル事ヲ彼ハ良ク知ツテキルカラ云々

大日本帝國政府

極秘

電信寫

昭和18 一七四一五 暗 臺北 十月二十六日〇七三〇發 居本省 二十六日一三五〇着

重光外務大臣 峰谷外務部長

第四二號

(元伊太利名譽領事拘留ニ關スル件)

十八日內務省管理局長ヨリ警務局長宛通報ニ基キ本部ニ於テハ十九日午前一〇時元臺北駐在伊太利名譽領事「アランデル、デル、レー」(五四)妻「ジョン、デルレー」(四六)長女「デアラ、デルレー」(一八)次女「ブリゲド、デルレー」(一一)使用人許氏細(四五)ノ抑留ニ着手午前一一時無事當市内同人住宅ニ拘留ヲ決セリ(了)